

1. ごあいさつ

はじめに昨年7月に大きな事故を発生させ、官公庁、地域住民および関係者の皆様に多大なご迷惑とご心配をおかけしましたことを、本紙面を借りまして、改めてお詫び申し上げます。二度とこのような事故を起さないよう、誠心誠意再発防止対策に取り組んでまいりますこととお誓い申し上げます。

さて、1997年京都会議にて批准された「京都議定書」が2005年12月に施行されました。各国の思惑で対応姿勢、削減目標が異なりますが、我が国は2008年から2012年の間に1990年のエネルギー使用量の6%削減が義務づけられました。

廃棄物についても、発生量の削減とリサイクルを行い、地球環境にやさしい循環型社会をつくる必要があります。

このような観点に立ち、省エネ、廃棄物削減活動を一層活発に行い、成果を上げて行かねばなりません。そして、結果として地球規模の環境保全に寄与することが我々の使命と考え、工場一丸となって環境保全活動を展開しております。

本レポートは2007年度に当工場が展開してきた環境保全活動をまとめたものです。まだまだ改善の余地はありますがここに報告致します。

当工場は2001年3月に環境マネジメントシステムの国際規格でありますISO 14001を取得し、その管理システムに基づいて活動を展開しております。

省エネ活動として、エジェクターに代え真空ポンプの導入やプロセス改善による省エネを進めておりますが、エネルギー多消費型の製品が増加し、残念ながら大きな成果にはつながっておりません。削減に向け今後さらに努力して行きます。

廃棄物削減活動については、工程改善等により廃油、廃酸の削減を図っております。又、2004年度下期から焼却残渣の資源化で埋設処分量を廃棄物委託処理量の1%以内にでき、2007年度もゼロエミッションを継続しております。

当工場では環境管理と同様、工場管理の基盤である安全管理、品質管理活動をTPM活動と一体化して進め、地域住民、株主及び働く人達に安心していただける様に、工場運営をしてまいります。

今後も、皆様のご意見、ご指導を戴きながら、環境維持・改善活動に積極的に取り組んでまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

2008年 6月

取締役三重工場長 竹田高資